



令和3年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

令和2年11月5日

上場会社名 株式会社 高田工業所
コード番号 1966 URL <https://www.takada.co.jp/>

上場取引所 東 福

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高田 寿一郎

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 副島 淳一

TEL 093-632-2631

四半期報告書提出予定日 令和2年11月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和3年3月期第2四半期の連結業績(令和2年4月1日～令和2年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
3年3月期第2四半期	24,884	7.7	1,095	34.0	1,185	26.4	768	28.5
2年3月期第2四半期	26,956	8.4	1,660	78.0	1,610	69.6	1,075	83.0

(注) 包括利益 3年3月期第2四半期 870百万円 (13.2%) 2年3月期第2四半期 1,002百万円 (43.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円 銭	円 銭
3年3月期第2四半期	121.48	45.57
2年3月期第2四半期	169.90	50.86

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
3年3月期第2四半期	33,677	11,619	33.7
2年3月期	28,523	11,552	39.6

(参考) 自己資本 3年3月期第2四半期 11,362百万円 2年3月期 11,289百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2年3月期		0.00		20.00	20.00
3年3月期		0.00			
3年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 1. 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。なお、当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式の配当の状況については、「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

(注) 2. 令和3年3月期の期末配当予想につきましては、令和3年3月期の業績予想を引続き未定とさせていただきますため、現時点では未定としております。

3. 令和3年3月期の連結業績予想(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

令和3年3月期の連結業績予想(通期)につきましては、新型コロナウイルス感染症の収束の目途が立っておらず、当該感染症が業績に与える影響を現時点において合理的に算定することが困難であることから、引続き未定とさせていただきます。適正かつ合理的な算出が可能になりましたら、後日速やかに開示いたします。

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	3年3月期2Q	7,220,950 株	2年3月期	7,220,950 株
期末自己株式数	3年3月期2Q	892,212 株	2年3月期	892,097 株
期中平均株式数(四半期累計)	3年3月期2Q	6,328,820 株	2年3月期2Q	6,328,984 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

通期の業績予想につきましては、本資料の発表日現在において合理的な業績予想の算出が困難であるため記載しておりません。

(百万円未満切捨て)

(参考)個別業績の概要

1. 令和3年3月期第2四半期の個別業績(令和2年4月1日～令和2年9月30日)

(1) 個別経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
3年3月期第2四半期	23,610	△4.3	1,307	△14.3	1,400	△8.0	1,002	△3.7
2年3月期第2四半期	24,678	9.5	1,525	70.7	1,521	57.3	1,041	64.6

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
3年3月期第2四半期	158.43	59.43
2年3月期第2四半期	164.59	49.27

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
3年3月期第2四半期	31,495	10,743	34.1
2年3月期	26,072	10,531	40.4

(参考)自己資本 3年3月期第2四半期 10,743 百万円 2年3月期 10,531 百万円

2. 令和3年3月期の個別業績予想(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

令和3年3月期の個別業績予想(通期)につきましては、連結業績予想(通期)と同様、新型コロナウイルス感染症の収束の目途が立っておらず、当該感染症が業績に与える影響を現時点において合理的に算定することが困難であることから、引続き未定とさせていただきます。適正かつ合理的な算出が可能になりましたら、後日速やかに開示をいたします。

3. 種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

○ B種株式(優先株式)

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭 厘	円 銭 厘	円 銭 厘	円 銭 厘	円 銭 厘
2年3月期	—	0.000	—	9.008	9.008
3年3月期	—	0.000			
3年3月期(予想)			—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

※令和3年3月期の配当予想につきましては、これまで未定としておりましたが、本日、第2四半期の業績を公表したことに伴い、種類株式の中間配当の状況を併せて公表するに至りました。なお、期末配当予想につきましては、令和3年3月期の業績予想を引続き未定とさせていただきますため、現時点では未定としております。

(注) 個別業績の概要につきましては、法定開示における四半期レビュー手続の対象外であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結貸借対照表に関する注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況が継続いたしました。未だ当該感染症の収束時期は見通せず、先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社グループの関連するプラント業界におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響による企業収益の減少等に伴い、設備投資動向は慎重な動きが継続し、今後の受注活動への影響が懸念される状況であります。

このような状況下、当社グループといたしましては、新型コロナウイルス感染症に対する関係当局及びお客様からの要請に対応し、感染予防対策を講じながら、社員の安全・安心を最優先に確保したうえで、社会的責任やお客様に対する受注責任を果たすべく努めてまいりました。

また、平成30年度から令和2年度までを実施期間とする『中期経営計画』の最終年度として、各事業の総仕上げ及び総点検を行いながら、次期『中期経営計画』に向けた土台作りを進めております。

そのような中、当社は令和2年9月26日に創業80周年を迎えました。80年の歴史の上に立ち、これから先、20年後の創業100周年を見据え、現在の当社の課題及び未来の当社の姿に対して、今何をすべきかを検討していく「2040みらいプロジェクト」を令和2年7月1日付で発足させました。当社グループ構成員全員が参画し、将来ビジョン・社員像の策定と組織活力の更なる向上を目指し、未来に誇れる企業へと成長してまいります。

当第2四半期連結累計期間の売上面につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、海外子会社の所在する地域において活動が制限されたこと等により、連結売上高は248億8千4百万円(前年同四半期比7.7%減)となりました。

また、損益面につきましては、連結売上高の減少等に伴い、連結営業利益は10億9千5百万円(前年同四半期比34.0%減)、連結経常利益は11億8千5百万円(前年同四半期比26.4%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は7億6千8百万円(前年同四半期比28.5%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、336億7千7百万円で前連結会計年度末より、51億5千3百万円増加いたしました。増加の主な要因は、受取手形・完成工事未収入金等が43億8千8百万円増加したこと等によるものであります。

負債合計は、220億5千8百万円で前連結会計年度末より、50億8千6百万円増加いたしました。増加の主な要因は支払手形・工事未払金等が10億7千8百万円、短期借入金が34億円増加したこと等によるものであります。

純資産合計は、116億1千9百万円で前連結会計年度末より、6千6百万円増加いたしました。増加の主な要因は、退職給付に係る調整累計額が6千8百万円増加したこと等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況に関する分析

当第2四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末の24億5千万円に比べ3億4百万円減少し、21億4千5百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金収支は、22億4千万円の支出(前年同四半期15億7千7百万円の支出)となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純利益11億8千5百万円、仕入債務の増減額の10億7千4百万円の収入と、売上債権の増加額43億8千1百万円、法人税等の支払額2億3千2百万円の支出によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金収支は、6億2千1百万円の支出(前年同四半期6億1千7百万円の支出)となりました。

これは主に、関係会社株式の取得による支出3億7千万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金収支は、25億3千8百万円の収入(前年同四半期16億5千6百万円の収入)となりました。

これは主に、短期借入金の純増加額34億円による収入と、自己株式の取得による支出6億5千万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和3年3月期の通期業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の収束の目途が立っておらず、お客様への影響や当社グループの業績への影響規模を現時点で合理的に算出することが困難であるため、引続き未定とさせていただきます。適正かつ合理的な算出が可能になりましたら、後日速やかに開示をいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和2年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (令和2年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,560,475	2,257,408
受取手形・完成工事未収入金等	13,903,196	18,291,439
有価証券	50,000	50,000
未成工事支出金	2,379,736	2,575,987
その他のたな卸資産	134,634	107,214
その他	199,528	230,602
貸倒引当金	△105,655	△49,582
流動資産合計	19,121,915	23,463,070
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,764,332	2,754,716
機械、運搬具及び工具器具備品(純額)	378,360	418,274
土地	4,026,110	4,027,127
建設仮勘定	7,187	247,958
その他(純額)	147,083	371,333
有形固定資産合計	7,323,074	7,819,409
無形固定資産	439,094	399,859
投資その他の資産		
投資有価証券	252,538	632,739
繰延税金資産	1,137,053	1,113,662
その他	293,676	292,378
貸倒引当金	△43,747	△43,747
投資その他の資産合計	1,639,522	1,995,032
固定資産合計	9,401,690	10,214,302
資産合計	28,523,606	33,677,373
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	7,980,588	9,058,910
短期借入金	3,000,000	6,400,000
未払法人税等	304,491	513,704
未成工事受入金	266,123	272,732
完成工事補償引当金	28,750	26,864
工事損失引当金	29,726	94,916
その他	1,281,143	1,423,509
流動負債合計	12,890,822	17,790,637
固定負債		
再評価に係る繰延税金負債	569,736	569,736
退職給付に係る負債	3,252,586	3,249,442
その他	258,181	448,381
固定負債合計	4,080,503	4,267,560
負債合計	16,971,326	22,058,198

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和2年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (令和2年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,642,350	3,642,350
資本剰余金	1,243	1,243
利益剰余金	9,496,503	9,469,363
自己株式	△24,853	△24,939
株主資本合計	13,115,243	13,088,017
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△58,504	△52,961
土地再評価差額金	△588,028	△588,028
為替換算調整勘定	△437,453	△410,855
退職給付に係る調整累計額	△741,496	△673,332
その他の包括利益累計額合計	△1,825,482	△1,725,177
非支配株主持分	262,518	256,334
純資産合計	11,552,279	11,619,174
負債純資産合計	28,523,606	33,677,373

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成31年4月1日 至令和元年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自令和2年4月1日 至令和2年9月30日)
完成工事高	26,956,133	24,884,514
完成工事原価	23,817,574	22,287,387
完成工事総利益	3,138,558	2,597,126
販売費及び一般管理費	1,478,277	1,501,330
営業利益	1,660,281	1,095,796
営業外収益		
受取利息	6,054	3,077
受取配当金	3,614	1,195
受取賃貸料	13,328	12,916
労災保険料等還付金	11,599	130
助成金収入	—	68,090
その他	13,041	43,638
営業外収益合計	47,638	129,048
営業外費用		
支払利息	19,848	19,071
為替差損	13,470	—
売上債権売却損	8,694	7,368
貸倒引当金繰入額	23,447	—
その他	31,606	13,244
営業外費用合計	97,068	39,684
経常利益	1,610,851	1,185,160
特別利益		
固定資産売却益	1,889	—
投資有価証券売却益	85	—
特別利益合計	1,975	—
特別損失		
固定資産売却損	45	—
固定資産除却損	3,809	93
特別損失合計	3,855	93
税金等調整前四半期純利益	1,608,971	1,185,066
法人税、住民税及び事業税	347,209	429,207
法人税等調整額	184,268	△11,349
法人税等合計	531,477	417,858
四半期純利益	1,077,493	767,208
非支配株主に帰属する四半期純利益 又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	2,174	△1,596
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,075,319	768,804

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成31年4月1日 至 令和元年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 令和2年4月1日 至 令和2年9月30日)
四半期純利益	1,077,493	767,208
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△23,616	5,543
土地再評価差額金	4,000	—
為替換算調整勘定	△119,626	29,510
退職給付に係る調整額	64,370	68,164
その他の包括利益合計	△74,873	103,218
四半期包括利益	1,002,620	870,427
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,014,525	869,109
非支配株主に係る四半期包括利益	△11,904	1,317

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成31年4月1日 至令和元年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自令和2年4月1日 至令和2年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,608,971	1,185,066
減価償却費	283,235	278,519
貸倒引当金の増減額(△は減少)	23,447	△56,073
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△11,269	94,934
完成工事補償引当金の増減額(△は減少)	△11,902	△1,885
工事損失引当金の増減額(△は減少)	△147,183	65,189
その他の引当金の増減額(△は減少)	17,434	—
受取利息及び受取配当金	△9,669	△4,272
支払利息	19,848	19,071
固定資産売却損益(△は益)	△1,844	—
固定資産除却損	3,809	93
投資有価証券売却損益(△は益)	△85	—
助成金収入	—	△68,090
売上債権の増減額(△は増加)	△2,845,175	△4,381,938
未成工事支出金の増減額(△は増加)	505,601	△196,250
仕入債務の増減額(△は減少)	△74,593	1,074,789
未成工事受入金の増減額(△は減少)	125,751	6,482
その他	△365,445	△78,228
小計	△879,066	△2,062,591
利息及び配当金の受取額	10,923	5,040
助成金の受取額	—	68,090
利息の支払額	△19,926	△19,007
法人税等の支払額	△689,156	△232,246
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,577,225	△2,240,715
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△111,385	△608
定期預金の払戻による収入	11,587	—
有価証券の取得による支出	△70,000	△50,000
有価証券の償還による収入	70,000	50,000
有形及び無形固定資産の取得による支出	△476,868	△212,152
有形及び無形固定資産の売却による収入	2,911	—
投資有価証券の取得による支出	△2,321	△2,224
投資有価証券の売却による収入	398	—
関係会社株式の取得による支出	—	△370,000
貸付けによる支出	△71,988	△37,785
貸付金の回収による収入	50,000	2,773
その他	△20,311	△1,090
投資活動によるキャッシュ・フロー	△617,978	△621,087
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	2,600,000	3,400,000
自己株式の取得による支出	△820,420	△650,086
リース債務の返済による支出	△27,891	△59,199
配当金の支払額	△90,384	△144,940
非支配株主への配当金の支払額	△4,326	△7,120
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,656,977	2,538,653
現金及び現金同等物に係る換算差額	△78,727	18,298
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△616,953	△304,851
現金及び現金同等物の期首残高	2,519,656	2,450,808
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,902,702	2,145,956

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、令和2年8月28日開催の取締役会において、会社法ならびに当社定款規定に基づき令和2年7月31日に取得した自己株式(D種株式及びE種株式)について、会社法第178条の規定に基づき消却することを決議し、令和2年8月31日に消却いたしました。

これにより、利益剰余金が650,000千円減少しております。

(四半期連結貸借対照表に関する注記)

(偶発債務)

- (1) 連結子会社であるスリ・タカダ・インダストリーズ(マレーシア)・エスディエヌ・ビーエッチディが請負った工事において、顧客設備の一部が損傷する事象が発生し、その後の調査により、令和2年8月、同社作業が主因であることが確認されました。

損害賠償請求の対象となる範囲及び金額については顧客と協議中であり、本件が業績に与える影響額については、現時点で合理的に見積もることが困難な状況であります。

- (2) 連結子会社であるシンガポール・タカダ・インダストリーズ・プライベート・リミテッドが前連結会計年度に請負った工事の瑕疵により、令和2年9月、顧客の操業に影響を与える事象が発生しました。

損害賠償請求の対象となる範囲及び金額については顧客と協議中であり、本件が業績に与える影響額については、現時点で合理的に見積もることが困難な状況であります。